

# 耕作放棄地解消の ための対策について

山田邦彦 議員

**議員** ○五年、全国の耕作放棄地は三八・六万haあり、一〇年間で五・六%から九・七%に上昇しています。国では市町村における「耕作放棄地解消計画」の策定を推進し来年度を目途に耕作放棄地の解消を目指すとしています。①甘楽町での状況。②「遊休農地バンク」等を設置しては。③「菜の花プロジェクトin甘楽」への町の基本的なスタンス。④県からの補助がなくなつたので、町からの支援が必要と考えるがどうか。

5haの耕作放棄地がありました。農地の再利用に係る事業は、県の承認を受けた協議会を中心に推進します。現在、県の補助事業により和牛放牧による耕作放棄地の解消を図っています。また、白倉地区の一部を重点地区に設定し、耕作放棄地の解消に向けたアンケート調査を実施し、方向を決定したいと考えています。②町では、農地利用集積事業を実施し、57haの農地の集積が図られています。また、甘楽富岡農業協同組合が法に基づき、農地の貸借、売買等の事業を開始しました。③耕作放棄地に菜の花を植え、収穫、菜種油の採取まで行う、循環型社会を目指す活動に期待しています。④現在、町では各種補助金を削減中であり、可能な限り自助努力いただきたいと思います。

## 一般質問

### ごみ袋の値下げについて

山田邦彦 議員

**議員** 町指定のごみ袋は、○六年七月から『有料化』が始まりました。導入時から今でも住民の間には、「高すぎる」、「値下げして」との声が渦巻いています。(導入前の組長対象のアンケートは、有料化に賛成が二割。反対が六割)①町指定のごみ袋の値下げ

無料化を提案しますが、実施するためには、何か必要か。②「現役世代」を主力にした「審議会」を設け、決めなおすことも一案だと思えますがどうか。③ごみ処理については、排出したごみの量に対応した手数料を負担していただくとの考えから袋の代金が決まりました。皆さんの協力をいただき、年々ごみは減量し、二十年度は、一人一日あたりの排出量は570gで、県内では少ない方から三番目となる実績を上げています。ごみの減量に協力している人たちの工夫と努力により、負担の均衡を図るこのシステムが順調に進んできたと思つていますので、継続したいと考えます。②二十一年度決算見込みで、ごみ処理費は人件費を除き、約1億2500万円です。

対してゴミ袋販売手数料収入は、約1900万円です。処理費に占める割合は、15・2%です。手数料導入時は、ごみの焼却処理費用の三割程度を負担としていたので、負担率は低くなっています。また、燃やせるごみ袋の「小」を作り利用者の声に応えたいと考えています。このような現状から直ちに審議会を設置する考えはありません。議会、区長会、環境保健協会などで説明し、理解を求めていきます。

### 浅間堤公園の発展を

山田邦彦 議員

**議員** 長岡今朝吉さん(名譽町民)の大きな援助のもと、素晴らしい浅間堤公園が整備され、町民すべてが喜んでるところです。さらに愛される公園に発展していただきたいと思いいくつか提案します。①今のうちに、駐車場や将来「道の駅」などができるスペースを確保する。②「ゲリラ豪雨」や雷雨の避難場所として東屋の増設。③野外ステージの設置。④排水工事の実施。⑤その他の計画等の内容はどんなものか。

**町長** この公園は「長岡今朝吉福祉基金」を活用し、地域間交流を目的として整備された公園です。①この地域は、「甘楽北部ほ場整備」の第一種農業振興地域にあたり、農業振興地域域からの除外が非常に厳しい地区です。事業計画が確立していない段階では困難です。②公園の規模から東屋は二基あれば足りると考えます。豪雨のときは避難場所として利用し、雷雨の時は危険ですからトイレか車の中への避難がよいと思います。③ステージや駐車場を必要とする大きなイベントは、ふれあいの丘、甘楽総合公園、福島河川緑地広場などをご利用ください。④田んぼの真ん中にあり、用水路が周囲にあるため排水設備工事は困難です。⑤親水公園として整備し、昨年工事した芝生の開放をしてグラウンドゴルフ等を楽しんでいただきたいと考えています。